

IビジネスQ&A Business Q & A

Q：「業務支援ソリューション」とは、どのような内容ですか？

A：広い意味ではBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）にあたります。一般のBPOは、自社の定型的な業務プロセスを外部企業に委託することをいいますが、当社の「業務支援ソリューション」は、当社が培った自動車関連ファイナンス・テクノロジー、マーケット情報等の専門的なノウハウを基盤として、これにインフォメーション・テクノロジー（IT）とインターネット・テクノロジーを融合した新しい業務支援のシステムを企画・開発してお客様の業務の高付加価値化、高品質化を実現するものです。

Q：注力されている「CAドクター」とは、どのようなソリューションですか？

A：これまで自動車ファイナンス事業者向けに提供してきた「PVドクター」「RVドクター」「車種DB」等を活用して、くるまの価値に焦点を合わせ、流通事業者（ディーラー等）向けにセールス活動を支援するために新しく開発したシステムです。
具体的には、自動車販売店の第一線の営業活動の場面で、お客様一人ひとりの状況に対応したセールス提案書が作成できるシステムです。「CAドクター」を通して、高いレベルでの営業活動の標準化と効率化への貢献を目指しています。

Q：昨年中国で「千車科技（北京）」を設立した狙いは何ですか？

A：中国は年間新車販売台数2,000万台を突破した世界最大市場で、今後更なる成長が見込まれています。一方で、まだ中古車流通の仕組みの組織化は十分でなく、当社が得意とするデータ分析や価値算出ノウハウを有する会社は少なく、業界から大きな期待が寄せられています。事業環境としては厳しい一面もありますが、中長期的なビジネスチャンスと捉え、現地に100%子会社を設立したものです。

I株主メモ Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063
同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(お問い合わせ先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
同取次窓口 電子公告により当社ホームページ (http://
公告方法 www.slc.jp/) に掲載します。ただし、事故
その他やむを得ない事由によって電子公告に
よる公告をすることができない場合は、日本
経済新聞に掲載いたします。

I企業データ Corporate Data

商号 システム・ロケーション株式会社
英文社名 System Location Co.,Ltd.
本店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号
TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775
URL http://www.slc.jp/
創業 1992年7月1日
上場取引所 東京証券取引所 JASDAQ(証券コード2480)
資本金 191,445,000円
発行済株式総数 3,570,000株
株主数 870名
事業内容 自動車ファイナンス事業者向け業務支援
従業員数 34名

役員 (2014年6月25日現在)

【取締役】	【監査役】
代表取締役社長 千村 岳彦	常勤監査役(社外) 井坂 俊達
常務取締役 前田 格	監査役(社外) 小島 寛
取締役 橋本 祐紀典	監査役(社外) 鈴木 清雄
取締役 内村 裕一	
取締役 林 雅大	
取締役(社外) 永野 竜樹	

株主通信 第46期 報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで



I株主の皆様へ Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループの第46期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）は、好調な中古車輸出市場を背景に再販業務支援売上は450百万円（前期比6.8%の増収）、SaaS型システム商品の拡充と顧客層の拡大によりシステム業務支援売上は567百万円（同12.9%の増収）、これらを合わせた当期の売上高は1,018百万円で前期比10.1%の増収となりました。

売上総利益は620百万円（前期比18.2%増）となり、営業拡大に伴う諸経費増を吸収して経常利益は253百万円（同37.4%増）、当期純利益は159百万円と前期比93.8%の増益となりました。

剰余金の配当は、株主の皆様への利益の還元と財務の安全性の両面を勘案しつつ、かねてから実行している配当性向30%程度を実現するべく1株当たり13円（前期比3円の増配）といたしました。

当社グループは、裾野の広い自動車関連産業の中で「自動車ファイナンス事業者向け業務支援事業」という新たなビジネスモデルを創造し、成長しております。

中期的な取り組みとしては、専業大手オートリース会社向けの業務支援ノウハウをメーカー系や中堅中小のオートリース会社へと顧客層拡大を図っていくことと、インターネットと融合した新たな業務支援を自動車ファイナンス分野、更には自動車流通分野へ開発・提供していくことを重点としています。

当社は「お客様と共に新たな価値を創造する（Co-Creation）、安定性と成長性を兼ね備えたユニークな企業」を理念としています。

お客様が必要とする新たな業務支援ソリューションを、当社が信頼性の高いシステムとして企画・開発・提供していくことをコアとして、高付加価値企業を実現していきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 千村 岳彦

I 連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

I 連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	増 減
流動資産	1,213	1,321	108
固定資産	788	844	56
流動負債	454	457	3
固定負債	212	232	19
純資産	1,333	1,475	142
総資産	2,001	2,166	165

I 連結損益計算書

（単位：百万円）

	2013年3月期	構成比	2014年3月期	構成比
売上高	924	100.0%	1,018	100.0%
再販支援	422	45.7%	450	44.3%
システム支援	502	54.3%	567	55.7%
売上総利益	524	56.7%	620	60.9%
営業利益	165	17.9%	219	21.6%
経常利益	184	19.9%	253	24.9%
当期純利益	82	8.9%	159	15.6%

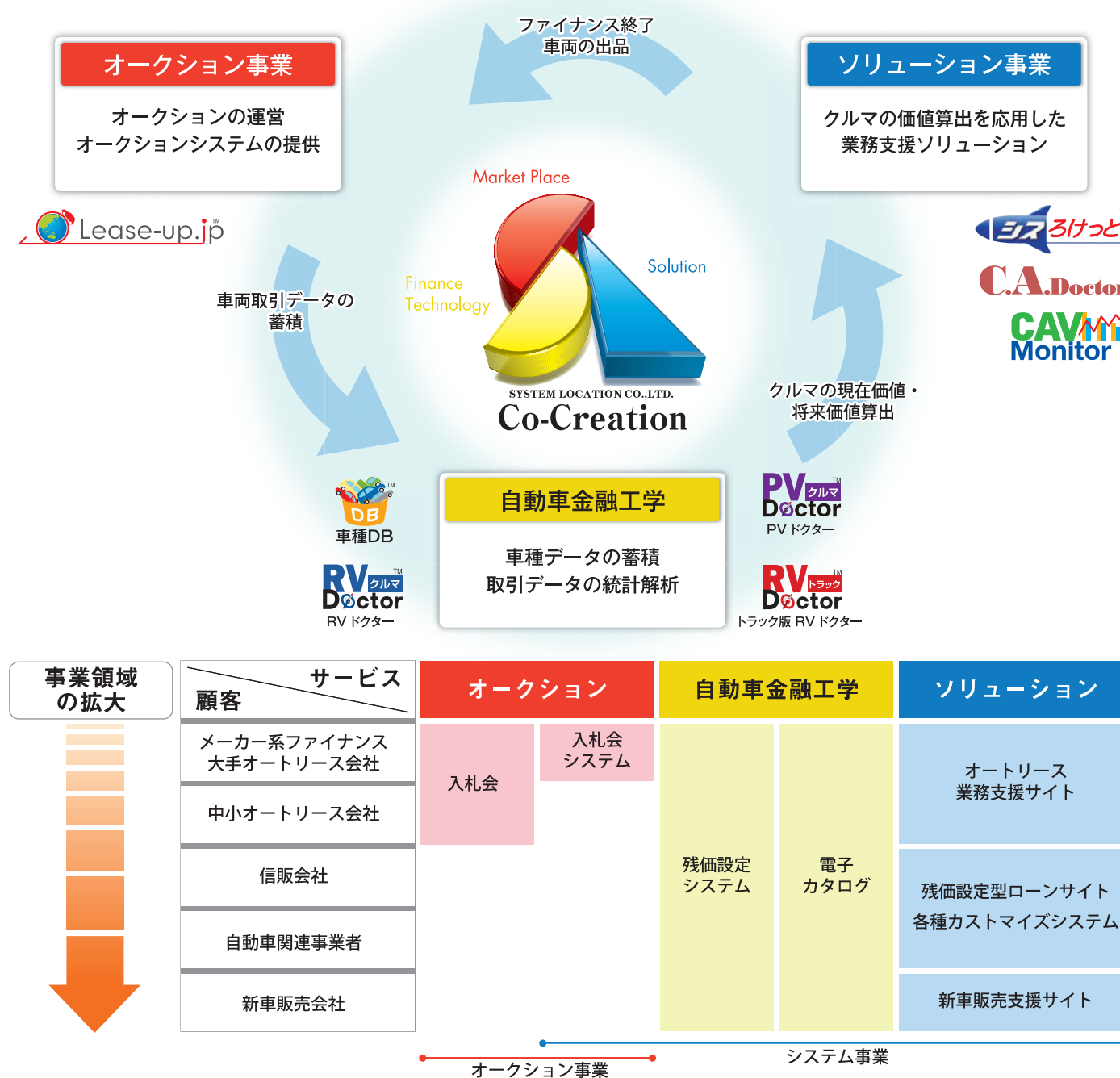
I 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	増 減
現金及び現金同等価物期首残高	749	897	148
営業活動キャッシュ・フロー	268	187	△81
投資活動キャッシュ・フロー	△85	46	131
財務活動キャッシュ・フロー	△35	△35	0
現金及び現金同等価物期末残高	897	1,098	201

I ビジネスモデル

Business Model

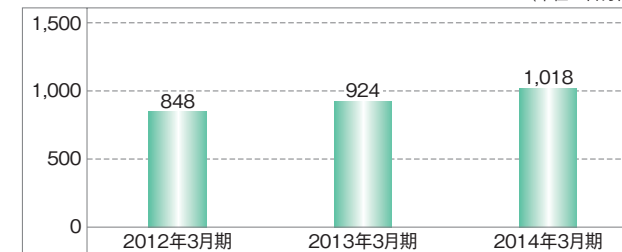


I 財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

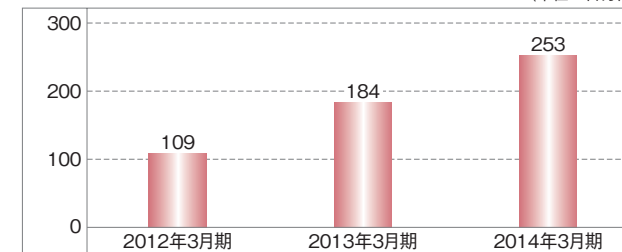
I 売上高

（単位：百万円）



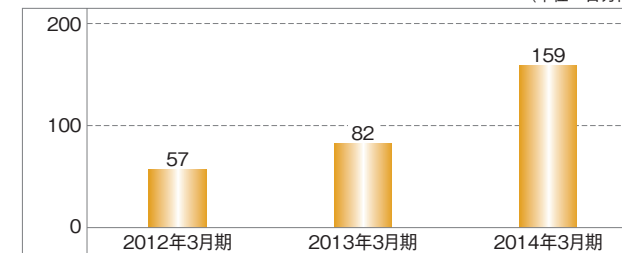
I 経常利益

（単位：百万円）



I 当期純利益

（単位：百万円）



I 総資産／純資産

（単位：百万円）

